



ほけんだより 2月号

1月のしいの木保育園

- *インフルエンザ:6名
- *新型コロナウイルス感染症:4名

12月のインフルエンザ大流行も落ち着いてきた1月でした。インフルエンザ後も咳などの症状がすっきりしない子も多くみられました。冷たく乾燥した空気が続きます。まだまだ感染症の季節です。体調を整えて登園しましょう！



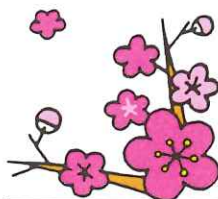
『スポットファイア』



こどもたちが集団生活を送る保育の場では、感染症が大きな課題となる事があります。発熱やせき、鼻水といった症状だけでは、インフルエンザかRSウイルスかなど見分ける事が難しいのが現状です。

近年、こうした状況に役立つ検査機器として「スポットファイア」が医療機関で導入されています。

1度の検査で多項目(インフルエンザ・RS・アデノ・コロナ・マイコプラズマ・ヒトメタニューモなど)同時検査が20分ほどで調べられます。抗菌薬の不要な使用を避け、適切な感染症対策を早期にとれることが利点です。検査をするかどうかは医師の判断となりますが、今後広がってくると助かりますね。



令和8年2月
しいの木保育園
看護師 鈴木

2月は「全国生活習慣病予防月間」

子育ては保護者が健康でないとできません！今月はおとも生活を見直してみましょう。

〇〇〇解熱剤、正しく使って〇〇〇

風邪で高い熱が出ると心配になるものですが、発熱は体が病原体と戦うための生理的反応。熱を下げることで治りが早くなるわけではありません。



どんなときに使う？ 熱で寝つけない、飲んだり食べたりできないときに飲ませましょう。ただ単に熱があるからと飲ませるのではなく「睡眠をとって体力を回復させるため」「水分をとって脱水を防ぐため」など必要な時に使いましょう。熱性けいれんの既往のある場合は、かかりつけ医の指示に従ってください。

熱が下がれば大丈夫？ 効果が切れたらまた熱が上がります。解熱の判断は24時間以上熱が出ない時です。解熱剤の効果で熱が下がるのは5～6時間ほどで、効果が切れたらまた熱が上がるのがほとんどです。引き続き様子をみて静かに過ごさせましょう。解熱剤で無理に熱を下げて無理をさせると、かえって病気が長引くこともあります。



おねがい

*今年度も残り2か月を切りました。進級に向けて気になる事がありましたら、早めにお知らせください。

*登園前に検温をお願いします。いつもより高めの場合は、登園時にお知らせください。子どもに無理のない活動を提供するためにもご協力をお願いします。